

インフォメーション

投映のご案内

	10:00～	11:30～	13:00～	14:30～	16:00～	17:30～	19:00～
平 日	(学 校 団 体 専 用)				全 天 周 映 画	一 般 投 映	全 天 周 映 画 *
土 曜 日	全 天 周 映 画	一 般 投 映	全 天 周 映 画	一 般 投 映	全 天 周 映 画	一 般 投 映	特 別 投 映 *
日・祝日	全 天 周 映 画 *	一 般 投 映	全 天 周 映 画	一 般 投 映	全 天 周 映 画		

* 印の回は天文教室等のためご利用になれないことがあります。

■ プラネタリウム一般投映

前半は星空案内をライブで。後半は天文のトピックスを映像を駆使して解説。

■ 全天周映画

魚眼レンズを通してドームいっぱいに展開されるダイナミックな70ミリ映画。
かつしか～水と緑／グランドキャニオン(1月19日まで) クロノス(1月21日より)

■ 特別投映 ミュージック・プラネット

美しい星空と音楽を中心まで。ちょっと大人向けのプラネタリウム。
12月7日、1月18日、2月1・22・29日、3月21・28日(土) いずれも19時より。

■ 定員 181名・入れ替え制・途中からの入退場はできません。

■ 観覧料 (博物館入館料を含みます)

大人 400円／小・中学生 150円／幼児(座席使用) 50円

星を見る会

博物館が誇る日本最大の屈折クーテ望遠鏡で、本物の天体を観察してみませんか。
1月11・25日、2月8日、3月7日(土) いずれも19時より。
実施日の10日前までに、希望日・参加者全員のお名前・年齢・電話番号を明記して、
往復ハガキでお申し込みください。

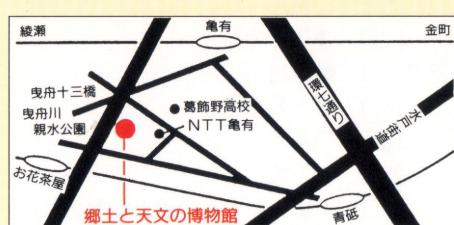
休館日

毎週月曜日(祝日を除く)、第4火曜日、年末年始(12月28日～1月4日)
3月3～6日は番組入替のため、プラネタリウム・全天周映画は休演いたします。

次回の一般投映番組

今夜の星空／隕石・過去からのメッセージ(仮題) 投映期間 '92年3月7日～5月31日

交通のご案内



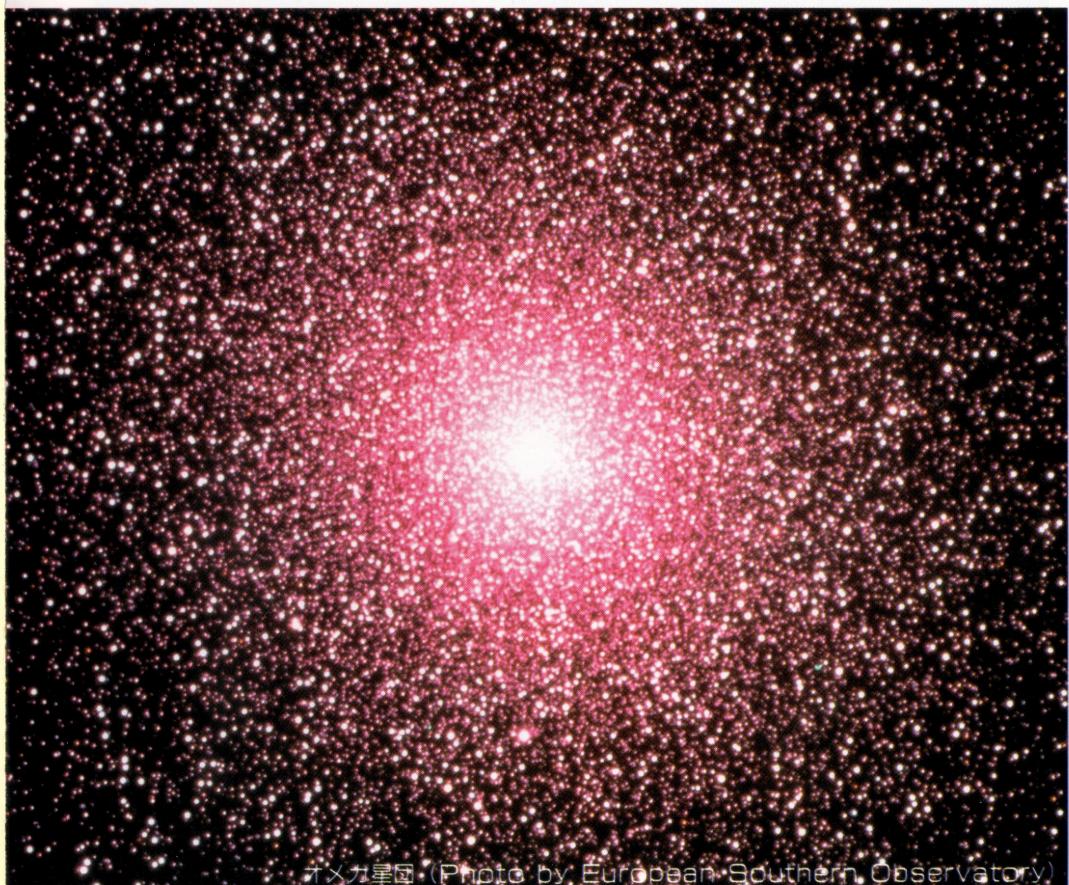
- 京成線お花茶屋駅から8分
- JR常磐線亀有駅から25分
- お車でのご来館はご遠慮ください。

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
☎ (03)3838-1101 FAX (03)5680-0849

PLANETARIUM

プラネタリウム一般投映 今夜の星空／マゼランの大航海



オメガ星団 (Photo by European Southern Observatory)



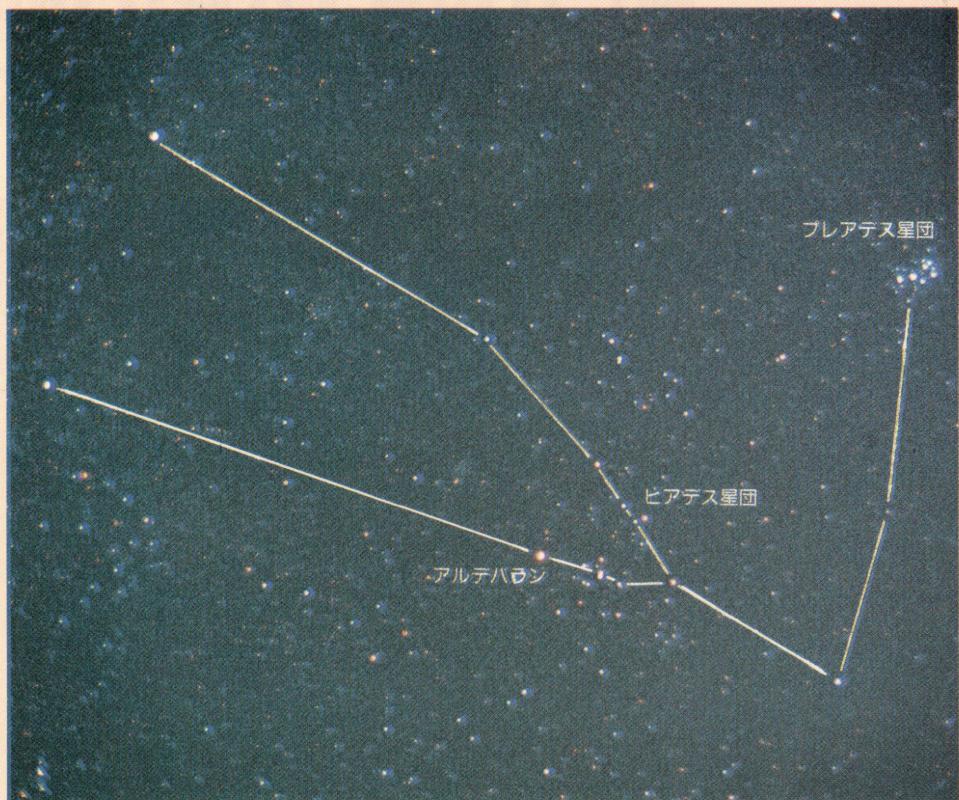
葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

Vol. 3 1992 冬

1992年・冬の星座より～おうし座



冬の空高く、オレンジ色の1等星、アルテバランが輝くおうし座が見えている。

ギリシャ神話では、大神ゼウスがフェニキアの美女・エウロバを連れ去るために変身した白い牡牛の姿とされている。

アルテバランの周囲にあるV字型のヒアデス星団は、130光年彼方にあり、星団全体がオリオン座の方角をめざして移動する『運動星団』だ。

プレアデス星団には青白い星が目立つ。年齢こそ若いが、重く、明るく、そして太陽よりはるかに短命な星々だ。

冬は大気が澄みわたり、星々の輝きがいちばん冴える季節。暖かく着込んで、冬の星座たちと語り合ってみよう。



プレアデス星団

南半球の星座たち

今回の一般投映では、初めて世界一周を果たしたマゼラン艦隊とともに、南半球の星空へとご招待しましょう。

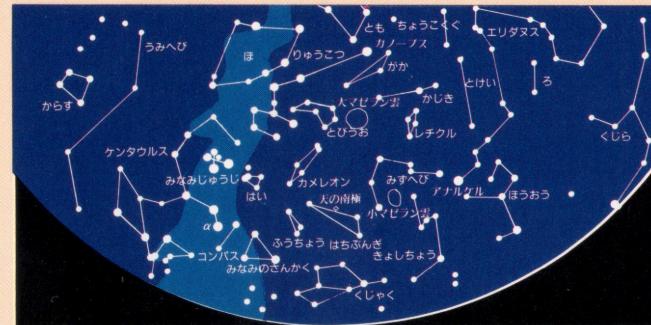
南半球では、南の空に、小さな十字架の「みなみじゅうじ(南十字)座」が輝いています。1等星が2つ、2等星と3等星が1つずつで作られる、全天で一番小さな星座です。

みなみじゅうじ座の隣には、「ケンタウルス座」があります。ケンタウルス座にも1等星が2つありますが、そのうちのα星は、地球から4.3光年の距離にあり、太陽系に最も近い恒星のひとつとして知られています。

この他、カメレオン座、かじき座、コンパス座、きょしちょう(巨嘴鳥)座、くじやく座、ぼうえんきょう座など、マゼランの時代に作られた星座たちが数多くあります。いずれも当時の航海の道具や南国の動物の姿です。

天の川から離れた所には、雲のような天体も見えています。マゼランの航海を記念して名付けられた「大マゼラン雲・小マゼラン雲」です。私たちの銀河系のお供の銀河です。

このように、南半球では、日本ではなじみのない星たちを見ることができます。なぜなのか、プラネタリウムを見ながら考えてみましょう。



■もっと詳しく知りたい方は、こんな本を読んでみてはどうだろう。

・星座アルバム 春・夏編、秋・冬編 藤井 旭 誠文堂新光社

天文カレンダー '92冬

12月6日	●新月	1月13日	●上弦の月
14日	●上弦の月	20日	○満月
	ふたご座流星群が極大。	27日	●下弦の月
21日	○満月。19時に部分月食。	2月4日	●新月
22日	冬至	12日	●上弦の月
28日	●下弦の月	18日	○満月
1月3日	りゅう座ι流星群が極大。	25日	●下弦の月
5日	●新月 太平洋で金環日食	29日	木星が衝。この頃が観察の好期。
	日本では早朝の部分日食となる。	3月4日	●新月